

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例
(2014年5月)

【適正使用】

Q：娘が不眠のため薬局からウット™を購入して服用中。長く飲んでも大丈夫か？（県民）

A：ウット™の成分のプロモバレリル尿素は、催眠鎮静薬であり、過量服用による急性中毒や漫然使用による慢性中毒の報告がある。また、プロモバレリル尿素は習慣性医薬品であり、慢性ブロム中毒は不可逆的な神経障害を起こす恐れがあるため、長期に渡り漫然と使用しない。5～6回使用して症状が改善しない場合は受診する。

Q：デキサルチン™口腔用軟膏は何の薬か？お尻が痒いのでつけても良いか？（県民）

A：口内炎や舌炎など口の中に使う軟膏である。使用目的が違うので使用しない。

Q：咳止めのブロン™液は長く使うと依存になるのか？（県民）

A：依存を起こす可能性もあるので、用法・用量通りに服用する。5～6回使用して症状が改善しない場合は受診する。

【相互作用防止】

Q：カルシウム拮抗薬とグレープフルーツジュースは相互作用があるが、ゼリーも相互作用があるか？（薬局）

A：ジュースだけでなく、果実や果皮でも起こる可能性がある。

【副作用防止】

Q：1歳5ヶ月児が、40℃の発熱でアセトアミノフェン座薬を使用した。その後、排便した（便の中に坐薬の塊なし）。坐薬挿入後30分でも解熱しないが、新たに追加して良いか？（県民）

A：便の中に形のまま坐薬が出ていない場合、ある程度吸収されている可能性がある。解熱で使用した場合、30分以内に効果が現れはじめ、2時間でピークに達し、4時間程度持続する。新たに追加すると過量となり低体温等の可能性がある。様子を見て、次回使用は初回使用から4時間以上あける。